



やぐらもん  
金石城跡の櫓門

# 日本遺産 Japan Heritage

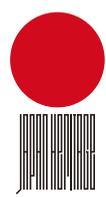
Vol. 4

## 「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」 かねいしじょうあと 金石城跡(対馬市)

江戸時代に対馬藩主をつとめた宗家の居城があった金石城跡(国指定史跡)。1528年、それまで居館として使用していた今屋敷の「池の屋形」が一族の内紛で焼失したため、当時の島主・宗将盛がこの地に金石屋形を築いたのが始まりです。その後、第3代藩主・宗義真が屋形を改修し、櫓や城壁を築き、金石城と称されるようになりました。背後には、1591年に豊臣秀吉が朝鮮出兵(文禄・慶長の役)に際して築かせた清水山城跡を望むことができます。

金石城は、1678年に棧原城が完成するまで居城として使用され、その後は、朝鮮通信使をもてなす迎賓館の役割も果たしました。1891年、屋形は解体されましたが、石垣の一部は当時のままで、1990年に櫓門が復元されました。

宗家文書の「毎日記」には、1690年から1693年の間に「御城」に「御庭」を作ったと記されています。長い時間を経て、この庭園は埋もれつつありましたが、1997年から発掘調査や整備が行われ、旧金石城庭園として復元され、当時の様子を偲ぶことができます。



### 日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの



清水山城跡(国指定史跡)  
山頂から、巖原の城下町と港、そして壱岐へと広がる大海原を一望できる。



旧金石城庭園(国指定名勝)  
起伏を生かして中央に池を配した景観が美しい。地域住民から「心字池」と呼ばれて親しまれている。

問合せ 県の文化振興課 ☎095-895-2762 日本遺産 国境の島 検索

